北区障害者地域自立生活支援室より

支援室だより

第４２号（2010 年 6 月発行）
【年 6 回偶数月上旬発行】

【相談窓口】
〒114-0032　東京都北区中十条 1-2-18　障害者福祉センター内
TEL:03-3905-7225　TEL・FAX 兼用:03-3905-7226　E-MAIL:peernet@ma.kitanet.ne.jp
開所日時:月～金　10時～19時　　土　10時～17時　＊日・祝・年末年始は休み

“支援室だより”は印刷されたもののほか、視覚に障害のある方のために、**「点字サークル六星会（福祉センタークラス）」**のご協力で 点字版 を、**音（声）訳「やまびこ」**のご協力で 音訳版 を作成しています。ご希望の方は支援室までご連絡ください。（TEL・FAX 兼用:03-3905-7226）

今号の内容

居宅介護事業所調査報告書完成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
デイジーサロンのご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
緊急時コミュニケーションツール「VUTE」の紹介・・・・・・・・・・・３
デイジー図書館「サピエ」及び再生ソフトの紹介・・・・・・・・・・４、５
講演会「発達障害児への理解と対応」・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
子どもと本の出会いのために講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
ポータブルデイジープレイヤー「ブックセンス」の紹介・・・・・・・・８

居宅介護事業所調査報が完成しました

平成 22 年度「北区障害（児）者居宅介護事業所報告書」が完成しました。北区で居宅介護サービスを提供している居宅介護事業所 101 ヶ所のうち、回答していただいた 64 ヶ所の調査結果をまとめました。（回収率 64%）各事業所の登録ヘルパーの年齢別・性別人数や、自費でヘルパー派遣を頼む場合の料金、医療的ケアを伴うサービスの提供をするか否か、などの項目が掲載されていますので、ホームヘルプサービスを利用する際の事業所選びにお役立てください。冊子を 300 部作成し、北区役所の王子障害相談係や赤羽障害相談係等の関係機関、各居宅介護事業所に配布しました。個人でご希望の方にも無料で差し上げますので、ご希望の方は支援室（０３－３９０５－７２２６）までご連絡ください。

デイジーサロンのご案内

～視覚障害者向け録音・再生機器の使い方～

現在、カセットテープの生産が終了し、点字図書館では全ての録音図書をデイジー化（CD化）する作業が進められています。デイジーとは、特殊な方法でCDに音声情報を記録します。カセットテープに比べると音が劣化しない、一枚のCDに数十時間の音声が録音できるなどのメリットがあります。しかし、このデイジーを聞くためにはPTR2などの専用機器が必要となります。

自立生活支援室では、PTR2 などの使用方法や購入の方法などの情報を交換できるサロンを設置することにしました。お気軽にご利用ください。

【６月・７月の開催日 】

サロン開催日程	内　容
６月２３日（水）	PTR2・PTN1 の再生方法、ページの移動方法、しおりの設定・削除の方法などの基本的な操作を、支援室の職員がていねいにお教えいたします。また、福祉制度を利用した購入方法等についてもご相談ください。
７月１４日（水）	
７月２８日（水）	

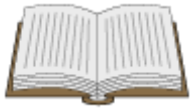
【時　　間】１４：００～１６：００

【場　　所】障害者福祉センター２階　北区障害者地域自立生活支援室

【対　　象】北区在住・在勤・在学の視覚障害者の方。
デイジー機器をお持ちでない方には、支援室の PTR2 を使いお教えいたします。

【参 加 費】無　料

【申込期間】各サロン開催日の３日前までとさせていただきます。



【申込方法】電話または FAX にてお申し込みください。
（お申し込みの際に、氏名・住所・電話番号をお伝え願います。）

電話 兼 FAX：０３－３９０５－７２２６

緊急時コミュニケーションツール「VUTE」体験

最近は防災への意識も強く高まっています。でも、もし言葉の通じないところで事故やけがをしたらうまく助けを呼べるのでしょうか。障害の有無に関係なく、だれもが不安に感じることだと思います。特に、普段手話を使っている聴覚に障害のある方や、日本に来たばかりで日本語が話せない方は、緊急時に言葉によって助けを求めることが難しいかもしれません。今回は、近い将来そんなときの強い味方になるかもしれない VUTE（ビュート）という技術をご紹介します。

VUTE は、絵だけで会話する文字や音声に頼らないまったく新しいコミュニケーションの形です。実際の VUTE の画面の動きを疑似体験してみてください。

こちらの URL から VUTE2009 を体験できます。

（開発元：NTT 未来ねっと研究所）　http://vute.ilab.ntt.co.jp/vute/index.html

名前と現在地を記述して「スタート」ボタンを押す（現在地が不明でも GPS で現在地を確認）
「火事」「事故」「救急」の３つのイラスト 救急のイラストを選択して次へ
「けが」「病気」の２つのイラスト 病気のイラストを選択して次へ

「１人」「２・３人」「複数人」の３つのイラスト １人のイラストを選択して次へ
「軽症」「中程度」「重症」の３つのイラスト 中程度のイラストを選択して次へ

※選択したイラストから文章が作られ、その文字を音声又はメールで救急や他人に知らせることができます。

現在は、VUTE を利用するにはネットにつながったパソコンが必要です。しかし、「いざ」というときに使えないと意味がないので、携帯電話などの持ち運びが可能な機器でも利用できるよう研究を続けているそうです。そして、緊急時だけではなく、「切符の買い方がわからない」など駅構内や他のシーンでも使えるようにしていくそうです。

ぜひ、VUTE の可能性はもちろん、ユニバーサルデザイン商品やサービスを障害のある人を含めて社会全体で盛り上げていく、そんな方法を考えるきっかけとしても、現在公開中の VUTE2009 をみなさんに試していただければと思います。

デイジー図書館「サピエ」及び再生ソフトのご紹介

「サピエ」とは、視覚障害者及び視覚による表現の認識に障害のある方々に対して点字、デイジーデータをはじめ、暮らしに密着した地域・生活情報などさまざまな情報を提供する「視覚障害者情報総合ネットワーク」です。「サピエ」は、デイジー図書の音声データをネット上で検索、ダウンロードできます。複数名のユーザーが、同一の図書を再生することもできますので、「貸し出し中」になることはありません。

日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行っています。

利用するには、**「ネットプレクストーク・プロ」**または**「MyBookⅡ」**の購入が必要です。

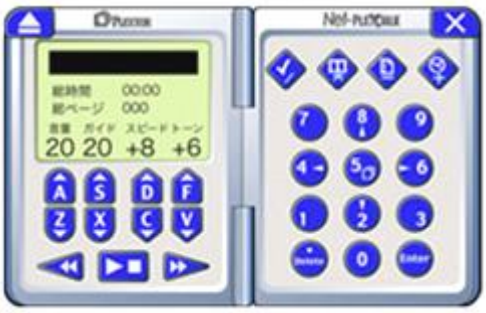
サピエ図書館

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-13-2

電話:06-6441-1078　　ＦＡＸ:06-6441-1078

https://www.sapie.or.jp/

◆ネットプレクストーク・プロ



ネットプレクストークは、パソコン上で動作する DAISY 図書再生用アプリケーションです。アプリケーションの操作は、プレクストーク（PTR1/PTR2）に準じた操作方法になっていますので、プレクストークに慣れている方であれば、簡単に操作できます。また、ダウンロードした図書を SD カードに転送して、ポケットサイズのプレクストーク PTP1 や、プレクストーク再生機 PTN2 で聴くといった楽しみ方もできるようになります。また主要な操作はテンキーとカーソルキーのみで可能です。音声によるガイドに従って全ての機能を操作できます。

ポイント１：　高速な検索・移動機能

テンキーで入力したページや見出しに瞬時に移動できます。またテンキーの 2, 4, 6, 8 キー（十字キー）を使用して、階層レベルやページ、グループによる移動ができます。

ポイント２：　再生スピードの変更機能

再生スピードを、音程はそのままの聴き取りやすい音声で 0.5 倍から 3 倍まで変更できます。

ポイント３：　しおり機能

最大１万箇所のしおりをつけることができます。また録音図書の再生を、別の図書に切り替えたときでも、最後に再生していた場所を自動的に記憶します。

【ネットプレクストーク・プロ　お問い合せ先】

日本点字図書館　図書情報課

新宿区高田馬場１-23-4　TEL 03-3209-2442

ホームページ　http://www.nittento.or.jp/index.html

◆ MyBook Ⅱ

MyBook II は、千葉県立中央図書館の方から要望を受け、高知システム開発が開発したものです。コンセプトは、パソコンに不慣れな視覚に障害のある人でも、音声読み上げや拡大文字でなるべく簡単に操作できること、点字・録音図書が利用できたり、今後の市場成長が期待される電子書籍にアクセスできることです。MyBook II では、サピエに対応したほか、提携している一般のオンライン書店の書籍情報を検索できるようになっています。
また、将来的には「理想書店」(オンラインで電子書籍が購入できるサイト)との連携により、オンライン書店で一般に販売されている電子書籍を購入して、読むことができる環境を準備中とのことです。

ポイント１：　一般図書を快適に検索する

点訳や音読してもらうために、本をインターネットで探そうとしてもオンライン書店のサイトが複雑であるなどの理由から、迷子になってしまうこともあります。
MyBook II では、上下左右カーソルでの移動やエンターなどのキーボードの簡単キー操作で、ランキングに入っている人気の本やキーワード検索でお目当てのものを探すことができます。
※対応サイト：　ビーケーワン（オンライン書店）、オトバンク（オーディオブック）

ポイント２：　一般の電子書籍に対応

ドットブック形式、Adobe PDF 形式、マイクロソフト Word・Excel・PowerPoint の電子書籍をカーソルキーで快適に読むことができます。MyBook Ⅱの操作だけで、「理想書店」から最新のドットブック形式の本を購入できるドットブック購入支援システムが構築される予定です。
※ ドットブックとは、電子書籍ファイルの形式のひとつで、T-Time(ティ・タイム)という電子本を表示するためのソフトで閲覧できます。

ポイント３：　朝のニュースを持ち歩く

MyNews の最新のニュースを自動的にデイジー録音できるようになりました。通勤や移動などの間に最新のニュースを聞くことができます。

【MyBook Ⅱお問い合せ先】
株式会社 高知システム開発
高知県高知市吉田町 2-23　　TEL 088-873-6500
ホームページ　http://www.aok-net.com/index.htm

今後の書籍業界のデジタル化と連動して、もっと簡単に、もっと便利に情報が取得できる方法が進み、視覚障害者にとってリアルタイムにアクセスできる図書や書籍が増えていくことを期待します。

情報提供

講演会「発達障害児への理解と対応」

「発達障害児への理解と対応」

～知的障害をもつ子への対応もふくめて～

「発達障害の診断を受けたけれど、関わり方がわからない」という悩みや、「パニックばかりおこしているけど自閉症だから仕方がない」というあきらめ、また「うちの子は普通の子とちょっと違うかも……」という不安な思いが、多くの保護者の方々から「あこの会」に寄せられます。「発達障害」という言葉をよく耳にするようになりましたが、発達障害への適切な理解と子どもの成長を信じた対応がまだ広がっているとは思えません。

この講演会では、知的障害やさまざまな発達障害の特性を学びながら、子どもたちの発達を促す具体的な関わり方をご紹介していきます。保護者の方々、関係者の方々の参加をお待ちしています！

【開催日時】 平成２２年６月２０日（日）１３：３０～１６：４０（受付１３：００～）

【講演内容】 １３：３０～１４：２０

発達障害・知的障害とはどんな障害か？

～診断でわかること、わからないこと

石塚（いしづか）　誠之（まさゆき） 氏（学校心理士／筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科）

１４：３０～１６：４０（休憩は適宜とります）

発達につまずきをもつ子どもたちへの対応法

～発達障害・知的障害児の早期療育の大切さとは

（保護者による子育て体験談の発表も予定しています）

石井（いしい）　葉（よう） 氏（保育士／NPO 法人ピアネット北　療育相談事業「あこの会」、練馬・港・目黒区障害児保育巡回相談員）

【 会 場 】北区立十条台ふれあい館（北区立障害者福祉センター）別館第１ホール
東京都北区中十条 1-2-18　(TEL 03-3905-7118)
JR 埼京線「十条」駅（徒歩 10 分）・JR 京浜東北線、南北線「王子」駅（徒歩 15 分）

【参加費】無料

【 定 員 】100 名（先着順。定員を超過した場合のみ、こちらからご連絡いたします。）

【申込方法】お名前・ご住所・お電話番号・ご家族または職業等の関係をご記入の上、
ＦＡＸ・郵送・メールにてお申し込みください。

【主催・お問い合せ先】　ＮＰＯ法人ピアネット北　療育相談事業「あこの会」
〒114－0034　北区上十条 1-1-7
TEL&FAX：０３-３９００-６８４８　　E-mail：akonokai@peernet.or.jp
ホームページ：　http://www.peernet.or.jp/

「子どもと本の出会いのために」講演会

誰もが読める本とは、通常の印刷物の読めない障害に配慮した本となるので、単に紙媒体の本だけではありません。点字や手話がついた本、さわる本、録音図書、マルチメディア DAISY 図書など障害のニーズに応じた様々な形態の本があります。こうした本作りには、障害のある子もない子も同じように本との出会いをしてほしいという願いがあります。

本講演会ではそういう思いを、さわる絵本とマルチメディア DAISY 図書を通して実現しようとしている取り組みを紹介いたします。

スウェーデンの国立録音点字図書館で長年、さわる絵本の製作に携わってきたアニカ・ノーバーク氏の講演に続き、渡辺順子氏、野口光世氏より日本での布の絵本の普及の意義や活動状況についてお話をいただきます。また日本障害者リハビリテーション協会は、DAISY によるすべての子どもたちが読める本の取り組みを報告します。会場では、さわる絵本等の展示もあります。

「子どもと本との出会いのために～誰もが読める絵本～」

平成２２年７月３日（土）１３：００～１６：００　　定員８０名　参加費無料
主催：（財）日本障害者リハビリテーション協会
会場：こどもの城　８階８０２　（東京都渋谷区神宮前５-５３-１）
　　JR 渋谷駅から徒歩１０分、東京メトロ表参道駅　Ｂ２出口から徒歩８分
■逐次通訳付
●希望に応じて手話通訳・要約筆記・点字資料、磁気ループを用意します。（６月２０日までにお申し込み下さい）
■参加申込先： 財団法人日本障害者リハビリテーション協会　情報センター　担当：有田・太田
TEL：０３-５２７３-０７９６　FAX：０３-５２７３-０６１５　Ｅメール：dinf-j@dinf.ne.jp
詳細ホームページ　http://www.normanet.ne.jp/info/kouenkai100703.html
★定員になり次第、締め切らせていただきます。

【プログラム】
１３：００～１３：１０　開会挨拶
１３：１０～１４：１０　講演１「スウェーデンにおけるさわる絵本」
　　アニカ・ノーバーグ 氏
　　（フリーランス・テキスタイル・デザイナー）
１４：１０～１４：２５　休憩
１４：２５～１５：３５　講演２「日本における誰もが読める本の取り組み」
　　渡辺 順子 氏（東京布の絵本連絡会）
　　野口 光世 氏（グループもこもこ）
　　野村 美佐子 氏（日本障害者リハビリテーション協会）
１５：３５～１５：４５　質疑応答
１５：４５～１６：００　展示
１６：００　　閉会挨拶

ポータブルデイジープレイヤー「ブックセンス」のご紹介

日常生活用具給付制度対象（視覚障害 1 級・2 級が対象）のポータブルデイジープレーヤー「ブックセンス」は、韓国 HIMS 社が製造した、手のひらにジャストフィットする新感覚の携帯型デイジー再生、録音機です。デイジー図書以外にも、簡単なメモ録から、音楽、テキストやワードなどの文書データの読み上げ、会議や授業などの長時間録音にも便利です。パソコンを使いこなしている方にお奨めの小型の再生録音機です。

【ポイント】

・手になじむサイズとデザイン
・サクサク動く、ストレスのない機動性
・音声ガイド付の使いやすい操作ボタン
・20 種類以上の様々なファイル形式に対応
・デイジー形式、MP3、WAVE（ウェーブ）ファイル形式で　録音可能
・CD ドライブを接続し、デイジー図書を CD から　直接読み込み、取り込み可能
・自然な音声での読み上げ、音声ガイド
・内蔵 4GB メモリー、FM ラジオ受信、録音可能、ブルートゥース対応（T50XT のみ）
※Bluetooth（ブルートゥース）とは、デジタル機器用の近距離無線通信機。

価格：
・ブックセンス T50　本体のみ　38,900 円（税込）
・ブックセンス T50　フルセット　74,000 円（税込）
内容：本体・バッテリー交換 1 回・6 年保証・CD ドライブ

・ブックセンス T50XT　本体のみ　49,900 円（税込）
・ブックセンス T50XT　フルセット　85,000 円（税込）
内容：本体・バッテリー交換 1 回・6 年保証・CD ドライブ

～お問い合せ　・　輸入販売元～
株式会社タイムズコーポレーション
電話：　０１２０－８８６－６１０
http://www.times.ne.jp/index.html

編集後記

北区障害者地域自立生活支援室から“支援室だより”第 42 号をお送りしました。鳩山首相が退陣されましたね。現在、国会で審議されている様々な法案のゆくえはどうなるでしょうか。日本のトップの方は、あまり変わらず一貫した政治を取り行い、暮らしやすい日本にしてもらいたいものです。

＊　＊　＊　＊　＊

いつのまにか夏のような気候になってきました！今年の春は寒いかと思えば急に汗ばむような暑さになったりと、“春”を満喫できないまま終わってしまったような気がします。こういった、いつもとちょっと違う気候を体験すると、温暖化の影響なのかと少し心配になってきます。自分でできる範囲で“エコ”を心がけていこうと思います。（た）

発行：北区障害者地域自立生活支援室　TEL&FAX：03-3905-7226